

M3T-PD308SIM, M3T-PD30SIM, M3T-PD79SIM, M3T-PD77SIM, M3T-PD38SIM 日本語版・英語版 バージョンアップのお知らせ

以下のとおりシミュレータデバッガをバージョンアップしました。

- M32C/80, M16C/80, M16C/70シリーズ用 M3T-PD308SIM V.3.10 Release 1
- M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10シリーズ用 M3T-PD30SIM V.5.10 Release 1
- 79xxシリーズ用 M3T-PD79SIM V.3.20 Release 1
- 77xxシリーズ用 M3T-PD77SIM V.3.10 Release 1
- 740ファミリ用 M3T-PD38SIM V.2.10 Release 1

1. バージョンアップ内容

1.1 新機能

◦ M3T-PD77SIMのみ

- (1) IAR Systems製CコンパイラICC7700 (ワークベンチEW7700) を使用したときのアセンブラソースのソースレベルデバッグに対応しました。

◦ M3T-PD38SIMのみ

- (1) IAR Systems製CコンパイラICC740 (ワークベンチEW740) を使用したときのアセンブラソースのソースレベルデバッグに対応しました。

1.2 改修内容

◦ 全製品共通

- (1) ターゲットプログラム実行中に、ダイアログボックス (ブレークポイントの設定や表示ウィンドウを変更するためのダイアログボックス等) を表示しようとしても、ダイアログボックスが表示されず、その後の操作ができなくなることがある制限事項を改修しました。

詳しくは 2001年05月16日発行のMAEC TOOL NEWS "PD32RSIM, PD308SIM, PD30SIM, PD79SIM, PD77SIM, PD38SIM, PD32000, PD32R, PD308, PD30, PD79,

PD77, PD38, PD308M, PD30M ご使用上のお願い" を参照してください。

- (2) Cウォッチウィンドウに変数を登録すると、デバッガが異常終了することがある制限事項を改修しました。

詳しくは 2001年08月01日発行のMAEC TOOL NEWS "PD32RSIM, PD308SIM, PD30SIM, PD79SIM, PD77SIM, PD38SIM, PD32000, PD32R, PD308, PD30, PD79, PD77, PD38, PD308M, PD30M ご使用上のお願い" を参照してください。

- (3) ターゲットプログラム (ロードモジュール) のダウンロード中に他のWindowsアプリケーションを起動する、もしくは起動している他のWindowsアプリケーションに表示を切り替えた場合、デバッガが反応しなくなることがある制限事項を改修しました。

- (4) ソースウィンドウがオープンできない、もしくはオープンできてもソースウィンドウの表示が異常となる場合がある制限事項を改修しました。

(3),(4)の詳細は、2001年12月16日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-PD32RSIM, M3T-PD308SIM, M3T-PD30SIM, M3T-PD79SIM, M3T-PD77SIM, M3T-PD38SIM, M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38, PD308M, PD30M ご使用上のお願い" の(1),(2)を参照してください。

- (5) カバレッジデータを設定したとき、シミュレータデバッガがハングアップすることがある制限事項を改修しました。

詳しくは 2002年12月16日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-PD32RSIM, M3T-PD308SIM, M3T-PD30SIM, M3T-PD79SIM, M3T-PD77SIM, M3T-PD38SIM ご使用上のお願い" を参照してください。

○ M3T-PD308SIM、M3T-PD30SIM、およびM3T-PD79SIMのみ

- (1) Customizeダイアログ、またはPathスクリプトコマンドでサーチパスを設定しても、プログラムウィンドウ等に正しいソースファイルが表示されない場合がある制限事項を改修しました。

詳しくは 2001年12月16日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-PD32RSIM, M3T-PD308SIM, M3T-PD30SIM, M3T-PD79SIM, M3T-PD77SIM, M3T-PD38SIM, M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38, PD308M, PD30M ご使用上のお願い" の(3)を参照してください。

○ M3T-PD308SIMのみ

- (1) "ADD.L:G src, dest", "SUB.L:G src, dest" 命令において、メモリ-レジスタ、レジスタ-メモリ、メモリ-メモリ間の演算を実行したとき、実行サイクル数が実際のサイクル数より多く計測される制限事項を改修しました。

○ M3T-PD30SIMのみ

- (1) SP相対アドレッシングモードを使用したMOV命令で転送した結果、dest(destination)のMSBの値が "0" でも、destの下位8ビットのMSBが "1" の場合は、Sフラグが "1" になるM3T-PD30SIMの制限事項を改修しました。

詳しくは 2002年11月16日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-PD30SIM ご使用上のお願い" を参照してください。

い" を参照してください。

。 M3T-PD79SIMのみ

- (1) 絶対値命令において、正の数として表すことができない値を指定して演算した結果、Cフラグが "0" ではなく "1" になる場合がある制限事項を改修しました。
- (2) 減算命令において、演算前の被減数 (アキュムレータまたはメモリ) の値が "0" になると、演算結果がオーバフローしてもVフラグが "1" にならない制限事項を改修しました。
(1),(2)の詳細は、2002年10月16日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-PD79SIM, M3T-PD77SIM ご使用上のお願い" を参照してください。

。 M3T-PD77SIMのみ

- (1) ASMウォッチウィンドウにおいて、奇数アドレスからはじまる2バイトサイズ、または4バイトサイズのウォッチポイントでメモリ内容を変更時に通信プロトコルエラーが発生するという制限事項を改修しました。
詳しくは 1999年12月01日発行のMESC TOOL NEWS "16ビットMCU用シミュレータデバugga ご使用上のお願い" を参照してください。
- (2) 減算命令を10進モードで使用しているプログラムを実行したとき、アキュムレータに不正な値が出力される場合がある制限事項を改修しました。
詳しくは 2000年04月16日発行のMESC TOOL NEWS "PD79SIM, PD77SIM ご使用上のお願い" を参照してください。
- (3) プログラムウィンドウ、ソースウィンドウのSourceダイアログ (View→Sourceボタン/メニューからオープンする) を操作中にWindowsのエラーメッセージが表示され、強制終了する場合がある制限事項を改修しました。
詳しくは 2000年06月16日発行のMESC TOOL NEWS "PD32RSIM, PD308SIM, PD30SIM, PD79SIM, PD77SIM, PD32000, PD308, PD30, PD79, PD77 ご使用上のお願い" を参照してください。
- (4) IAR社製CコンパイラICC7700 (ワークベンチEW7700) が生成したIEEE-695アブソリュート形式ファイルをダウンロードした場合、100000h番地以降のプログラムが正常にダウンロードできない制限事項を改修しました。
詳しくは2000年09月01日発行のMESC TOOL NEWS "PD77SIM, PD77 ご使用上のお願い" を参照してください。
- (5) 減算命令において、演算前の被減数 (アキュムレータまたはメモリ) の値が "0" になると、演算結果がオーバフローしてもVフラグが "1" にならない制限事項を改修しました。
詳しくは 2002年10月16日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-PD79SIM, M3T-PD77SIM ご使用上のお願い" の(2)を参照してください。

。 M3T-PD38SIMのみ

- (1) M3T-PD38SIM英語版に添付しているヘルプファイルが表示できない制限事項を改修しました。
詳しくは 2001年05月16日発行のMAEC TOOL NEWS "PD38SIM V.2.00 Release 1 英

語版 ご使用上のお願い" を参照してください。

2. バージョンアップと購入方法

2.1 オンラインバージョンアップ(無償)

日本語版はここから ダウンロードしてください。

英語版はここから ダウンロードしてください。

2.2 新規購入またはCD-ROMによるバージョンアップ(有償)

CD-ROMによるバージョンアップも受け付けております。

ご注文の際には、以下の情報を最寄りのルネサス テクノロジ営業または特約店までご連絡ください。

[新規ご購入の場合]

製品名 :

バージョン番号 :

リリース番号 :

言語 : ☐日本語版

(いずれか選択) ☐英語版

製品の使用環境 : ☐Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows
(いずれか選択) 95、Windows 2000、Windows NT 4.0

[CD-ROMによるバージョンアップの場合]

上記情報に加えて、ご使用中の製品のライセンスID、またはシリアル番号をご連絡ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。